

里の大地

NO. 11

文責 酒井



新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

元気に子どもたちが登校し、46日間の平成最後となる3学期が始まりました。短い3学期ですが各学年のまとめをしていく大事な学期です。一日一日を大事にして子どもたちにとって実りある3学期となるよう学校とご家庭とで共に支えていけたらと思います。なにとぞよろしくお願ひいたします。

3学期始業式によせて



ニュース等でもよく言われていますが、今日から、平成最後の3学期が始まります。46日間の3学期です。

今、代表の人たちから、それぞれ目標やがんばりたいことを発表してもらいました。みなさんもきっと新年を迎え、「こんなことをがんばってみよう」という思いをもっていることと思います。まだ迷っている人がいたら、代表の人たちが発表してくれた目標をヒントにして考えてみてください。

私はこの冬休みにやりたかったことがありました。それは、5年前に新しくなったこの東小学校の校舎が入りながら、その後ろに白く雪の積もったアルプスの山が見える写真を撮りたかったのです。

この後、歌う校歌にも出てくる「遠山は雪をいただき・・・」とある風景を写真に収めたかったのです。でも、今までにもチャンスはあったのですがなかなかタイミングがあわず、撮ることができませんでした。そして、天気、気温、雲のことなど晴れていても山に雲がかかってしまったり、かすんでしまったりして山の風景写真は難しいのです。この休み中にそのチャンスが巡ってきました。

この写真を撮るときのように目標を達成するには、チャンスをしっかりと見極めることが大事に思います。天気予報を見ながら、前の晩に星のよく出ていた次の日の朝がチャンスです。天気予報だけでは判断ができないこともあります。夜のうちに、西の山がくっきりと見えるかを確認してみました。これならいけるなと思いました。

その写真がこれです。朝起きてみたとき、まず見たのは、西の山に雲がかかっていないかでした。それを見てちょっと嬉しくて、-5℃という寒さのことを忘れて出かけてしまいました。



倉科から望む東小学校と雪の遠山

倉科の方から撮るとちょうどアルプスがきれいに見えて、学校が手前に入るという場所があり、その場所めがけていったのです。でも実はカメラの電池は寒さに弱いのです。このシーンだと思ってカメラを取り出してみると、電池が残りわずかのマークになっていました。こういう寒いときには、カイロのような暖めるものが必要だということ思い出したのですが、この澄んだ空気の中の写真は今しか撮れない。スイッチを入れ直したり、電池を取り出して入れ直したりしました。祈るような思いで、シャッターを切りました。何とか写真を撮ることができました。

目標を達成させるのためにやるべきことをやっておくことが大切なのだと思います。私のように詰めが甘くては、チャンスを逃してしまうこともあるでしょう。準備すること、一つ一つ積み上げていくこと大事にしたいですね。

さて、この3学期には、4～6年生のスキー教室や1年生のそり教室、そして来年1年間児童会の推進役となる児童会長を決める選挙があります。3年生も選挙管理委員になったり、選挙で投票したりします。4年生になれば児童会の一員として頑張ってもらうこととなります。46日間しかない3学期ですが、それぞれの学年の仕上げをしっかりとし、先への明るい見通しをつけていく大事な時です。一日一日を大切に充実した3学期を過ごしてほしいと思います。



目標を達成させるのためにやるべきことをやっておくことが大切なのだと思います。私のように詰めが甘くては、チャンスを逃してしまうこともあるでしょう。準備すること、一つ一つ積み上げていくこと大事にしたいですね。

インフルエンザ情報について

学校評価アンケートでは、大勢の方からご意見をいただきました。すぐに取り組んだり改善したりすべきものにつきましては、取り組んでまいりたいと思います。検討の必要なものについては、検討する場を設けて考えてまいりたいと思います。

そうした中に、インフルエンザの感染に関わる状況について早めに知らせしてほしい。というご意見がありました。検討し、以下のようにさせていただきます。

感染拡大を防止するために 学級閉鎖の措置を一学級でも執る場合には、該当学級だけでなく 全家庭にメール連絡し、ご協力いただくようにしたいと思います。

昨年度末のインフルエンザの様々なご対応に心より感謝申し上げます。

3学期も登校してきた子どもたちの健康状態を把握した上で、集団登校を10日・11日の2日間としました。

3学期もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。